

モニタリング結果報告書

施設： 県立観音崎公園
 指定管理者： 横浜緑地・西武造園グループ
 施設所管課： 横須賀土木事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	12月13日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
11月	12月10日	1月17日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
12月	1月7日	2月16日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
1月	2月10日	3月15日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
2月	3月16日	4月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
3月	4月8日	5月17日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

- ・観音崎を楽しむ拠点としてのイベント等を充実させる。
- ・観音崎自然博物館、横須賀美術館、青少年の村や京急ホテルなど周辺施設と連携を図る(公園連絡協議会)。
- ・園内の広場や森のロッジを活用し市民ボランティア等と連携した自然、歴史、地層のガイドツアーの実施。
- ・環境に配慮した管理運営に取り組む。
- ・安全管理として、地域連携による防犯対策「(仮称)公園見回り隊」の設置。安全安心な公園づくり。

<実施状況>

- ・公園自主事業として、第二回花の名所づくり サクラ植樹祭を実施、参加者130名。
- ・ボランティアグループわかばの会と森の手入れボランティア合同で間伐材、枯損木を利用した弦楽四重奏人形作りを実施。水の広場で製作。参加者30名(アート系イベント)
- ・公園連絡協議会主催第4回写真コンテストや第8回観音崎フェスタ(来園者36,000人)、他公園との連携したイベントを開催した。
- ・各イベント開催には、観音崎公園倶楽部(ボランティアグループ)120名の参加や近隣町内会方々の支援を得て実施した。
- ・10月はソナレマツムシソウ祭り、ターザンロープ、海岸清掃、地区自主防災訓練を実施。
- ・11月は観音崎フェスタ開催や㈱JTBと公園に修学旅行を呼ぶことを検討した。
- ・12月は防衛大学ツアーやクリスマスコンサート
- ・1月は三笠公園と合同イベントの開催
- ・2月はサクラ植樹祭、地域連携懇話会を開催した。
- ・3月は東日本大震災によりイベントを中止し、節電に努めている。
- ・環境に配慮した取組みとして、花の広場でのむしのねぐらや草地ビオトープが小学校指導用教科書に掲載された。
- ・公園見回り隊の実践状況については、自治会と調整を進めた。平成23年度4月発足に向けて、近隣町内会と打合せを継続していく。

(継続用紙)

< 提案内容の概要（今後実施予定のもの） >

アジサイまつりの開催

利用促進のためのイベント開催に関する提案事項。花の名所づくりとイベント展開を行う。

< 実施状況（今後実施予定のもの） >

アジサイまつりの開催

今年度のアジサイは天候により開花が遅れたため、アジサイまつりとしては開催していないが、花の名所づくりとして卯の花まつりを開催。平成 22 年 6 月 23 日に実施。

今後については、平成 23 年度 6 月中旬にアジサイまつりの開催を予定している。内容や詳細については、観音崎に関わる近隣各団体で行われる、観音崎公園連絡協議会にて協議を継続していく。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入 =駐車場収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	107,581	79,800	0	27,781	107,581	0
上半期計 (a)	61,115	39,612	()	21,503 (21,728)	48,461	12,654
下半期計 (b)	47,536	40,188	()	7,348 (8,835)	57,767	△10,231
10月	7,945	6,297	()	1,648 (1,836)	9,643	△1,698
11月	8,011	6,552	()	1,459 (1,818)	7,361	650
12月	8,139	7,295	()	844 (804)	8,954	△815
1月	8,201	6,432	()	1,769 (2,144)	6,180	2,021
2月	7,474	6,497	()	977 (789)	7,019	455
3月	7,766	7,115	()	651 (1,444)	18,610	△10,844
合計 (a+b)	108,651	79,800	()	28,851 (30,563)	106,228	2,423

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

昨年に続き、高速道路の延伸や土日有料道路サービス、公園利用促進イベント開催による来園者・駐車場利用者が増えたことにより、収入は増加した。

また、再委託先の見直しや、駐車場料金徴収業務などの効率化、直営作業による植物管理・修繕を実施し、支出額の圧縮に努めた。

人員配置については、事業計画書記載のとおり、所長1名、副所長2名、主任2名、スタッフ11名を配置し、公園運営を実施した。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	「特になし」	
支出の状況	「特になし」	
積立等の状況	「特になし」	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	445,000 人	400,600 人	11.1%
下半期計 (b)	374,900 人	345,100 人	8.6%
10月	65,000 人	60,000 人	8.3%
11月	87,900 人	84,100 人	4.5%
12月	61,500 人	43,000 人	43.0%
1月	64,000 人	52,500 人	21.9%
2月	48,500 人	43,500 人	11.5%
3月	48,000 人	62,000 人	△22.6%
合計(a+b)	819,900 人	745,700 人	10.0%

利用状況に関する意見等

- 〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕
- 〔 12月は暖かかったため、1月は木道広場斜面のスイセンが新聞に掲載されたため、利用者数が増加した。 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	3	1	0	0	0	4
11月	0	3	1	0	0	4
12月	1	4	0	0	0	5
1月	1	1	0	0	0	2
2月	1	1	0	0	0	2
3月	1	2	0	0	0	3

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

- 〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕
- 〔 園路や段差などバリアフリーに対する要望があった。
境界周辺の樹木伐採については、現場状況を確認し、公園スタッフや再委託にて対応を実施。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・海岸園路の石畳が歩きにくい	再生計画の中で検討
	・公園境界沿いの樹木伐採	状況に応じて対応
職員対応	・特になし	特になし
事業内容	・特になし	特になし
その他	・公衆便所の表示を変更	公衆便所をトイレに表示を変更して再設置

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

サクラ植樹祭、地域連携懇話会の開催、花のボランティア活動の継続、公園見まわり隊の立上げ、地区自主防災訓練への参加など地域とより密着、連携した取組みを実施した。今後は、観光公園をめざし、土産物の開発や自然環境を楽しめる公園をより多くの方に周知してもらうため、公園連絡協議会や旅行会社と連携した広報活動・情報発信などを実施する。

施設所管課

雨風時に倒木等で危険が伴う状況改善のため、継続的に枯損木処理や枝おろしを実施。また、海岸園地などには眺望確保のため強剪定を行った。花の広場をはじめ、花壇には施肥方法の検討・植生状況を調査。冬場には、階段補修・小破修繕など適宜行った。
毎年行われる写真コンテストでは、受賞作品を観音崎フェスタ期間中に展示した。作品数は年々増加しており、より多くの参加・応募が期待される。
連絡協議会では近隣施設団体や旅行会社と連携し、集客向上や公園の魅力について意見交換を行った。観音崎の自然や文化・あそびを含めた管理運営を進める必要がある。
PDCA 目標シートの見直しや検討、バリアフリー化調査・環境管理計画等の実施は引き続き行っている。今後の課題は、公園見回り隊の定期的な継続とあじさい祭りの開催である。